

# 市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 西島 彰  
編集 議会報編集委員会  
伊東市議会事務局  
電話32-1981(直通)FAX38-6916



## 伊豆半島ジオパーク

～伊東エリアには15のジオサイトがあります～ その4

汐吹海岸

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。  
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

### 主な内容

- 9月定例会の概要……………【P.2】
- 決算大綱質疑（11議員が質疑）………【P.5】
- 一般質問（7議員が登壇）……………【P.8】
- 常任・特別委員会……………【P.12】

市議会会議録は、市役所、図書館、  
各コミュニティセンターや、  
ホームページでごらんいただけます。  
（9月定例会会議録は、11月下旬  
発行・公開の予定です）

## 平成25年9月定例会

平成24年度  
一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会を8月30日から9月30日までの32日間の会期で開会しました。

平成24年度

## 市長決算概要説明（要旨）

平成24年度一般会計当初予算は、財政健全化に向けた取り組みを着実に進めつつ、『伊東創造』の集大成を目指した経営方針である「元点改基『いとう8K』健康共成」のための各種施策の展開を念頭に、前年度を三・六％下回る堅実型の予算を編成しました。

その後、「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用した緊急雇用創出事業の積極的な実施や本市独自の緊急経済雇用対策など六回にわたる補正を行い、最終予算規模を二六六億八七八万四〇〇〇円としました。

歳入決算では、自主財源に大きな比重を占める市税が対前年度比三・九％の減、新市民病院の医療機器購入のため医療施設設置基金の取り崩しにより、繰入金が大幅な増となる中、決算額は二六三億二七〇万三〇〇〇円で、対前年度比四・九％の増となりました。

歳出決算では、経常経費における扶助費が一・五％増加したものの、人件費が一・五％、公債費が〇・五％前年度に比べ減少し、決算額は二五五億二〇一三万五〇〇〇円で、執行率九五・六％、対前年度比四・一％の増となりました。

なお、歳入歳出差引額は八億六九四万八〇〇〇円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は前年度を三七・〇％上回る七億一九三七万一〇〇〇円となりました。

懸案事業では、新病院が平成二五年三月に開院し、これに伴う医療施設整備費用として医療施設設置基金を一六億円取り崩し、病院事業会計へ繰り出しました。環境美化センター更新改良整備事業につきましては、既設焼却炉を使用しながらの更新改良工事を、着実に進めました。学校施設等の耐震化事業

## 平成24年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

| 区 分<br>会計別       |           | 歳 入            |            | 歳 出            |            | 審議<br>結果 |
|------------------|-----------|----------------|------------|----------------|------------|----------|
|                  |           | 決算額(円)         | 収入率<br>(%) | 決算額(円)         | 執行率<br>(%) |          |
| 一 般 会 計          |           | 26,327,083,083 | 98.65      | 25,520,135,374 | 95.62      | ○        |
| 特<br>別<br>会<br>計 | 下 水 道 事 業 | 1,842,617,124  | 94.41      | 1,821,917,263  | 93.35      | ◎        |
|                  | 競 輪 事 業   | 14,099,563,709 | 91.62      | 14,391,670,570 | 93.52      | ◎        |
|                  | 国民健康保険事業  | 11,315,720,984 | 101.32     | 10,718,300,870 | 95.97      | ◎        |
|                  | 土 地 取 得   | 336,219,540    | 100.00     | 336,131,394    | 99.98      | ◎        |
|                  | 霊 園 事 業   | 62,167,259     | 99.60      | 62,067,193     | 99.44      | ◎        |
|                  | 介護保険事業    | 6,406,769,073  | 98.71      | 6,405,399,111  | 98.69      | ◎        |
|                  | 介護老人保健施設  | 85,733,435     | 100.04     | 85,536,162     | 99.81      | ◎        |
|                  | 後期高齢者医療   | 1,538,189,231  | 98.34      | 1,521,334,402  | 97.26      | ◎        |
| 合 計              |           | 62,014,063,438 | 97.30      | 60,862,492,339 | 95.49      | —        |

| 区 分<br>会計別       |      |      | 収 入           |            | 支 出           |            | 審議<br>結果 |
|------------------|------|------|---------------|------------|---------------|------------|----------|
|                  |      |      | 決算額(円)        | 収入率<br>(%) | 決算額(円)        | 執行率<br>(%) |          |
| 企<br>業<br>会<br>計 | 病院事業 | 収益勘定 | 1,904,340,735 | 99.80      | 1,872,438,143 | 98.94      | ◎        |
|                  |      | 資本勘定 | 3,649,700,438 | 100.00     | 3,795,926,645 | 99.52      |          |
|                  | 水道事業 | 収益勘定 | 1,621,823,940 | 102.08     | 1,455,824,962 | 96.93      | ◎        |
|                  |      | 資本勘定 | 277,908,241   | 68.43      | 1,075,511,859 | 96.03      |          |

につきましては、池小学校及び富戸小学校の屋内運動場と南中学校校舎の耐震補強工事を実施しました。

また、緊急雇用創出事業として、雇用の安定を図るとともに、利子補給等の経営支援等や商店街への助成に加え、地元業者に対して小規模修繕工事等を幅広く発注するなど、本市独自の切れ目のない緊急経済雇用対策により、市内経済の活性化に努めました。

本市の財政は、職員の人件費を含む全ての事務事業の見直しなどさまざまな改革への取り組みにより、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、財政調整基金や減債基金への計画的な積み立て、起債残高の圧縮など財源確保に一定の前進が図られており、健全化判断比率や実質収支比率などの財政指標からも、確実に健全化の方向へ向かっているものと判断しています。

※「元点改基『いとう8K 健康共成』」

＝「伊東創造」の集大成を目指し、初心に戻り改めて基礎（土台）の強化を図る。健やかに8Kを磨き上げ（健康）市民とともに市政の熟成を目指す。

# 本会議で 行つた討論 (概要)

## ■伊東市文化財保護条例の 一部を改正する条例

### 《反対》森篤議員

文化財保護法では、文化財を「我が国にとつて」価値の高いものと定義しているが、本条例では「市にとつて」と変更した。これでは、条例の策定根拠を同法によるとした第一条と文化財を定義した第二条とで矛盾する。「我が国にとつて」価値の高いものを市が指定できることに大きな意義があり、「市にとつて」価値の高いものを市が指定するのであれば、条例策定根拠を法律に置く必要はない。市独自の条例を定めたというが、一方で法律にその根拠を置くのは矛盾する。

### 《賛成》重岡秀子議員

本条例は、過去の上位法の改正にあわせ、随時改正すべきであったと思われるが、文化財の保存、管理、公開等の業務を整理し明確化したこと、指定に際し所

有者等の申請を明示したこと、文化財保護審議会の建議規定を設けたことなど、大幅な改正がされたことから、一定の前進が見られた。

また、文化財を積極的に公開していくべきであることから、本改正を契機に文化財管理センターの活用を初め、市民の文化財への関心が一層高まるような事業の実施を求め、賛成する。

## ■駿東伊豆地区消防救急広域化協議会の設置について

### 《反対》森篤議員

当協議会は、議会の議決を必要とする重要な計画策定協議会であり、規約には十分に注意を払う必要がある。規約の会長と委員との関係には、法的に考えて納得できない。また、地域安全保障の観点から、消防組織を市長の指揮下に置くことが非常に大事であると考え、消防救急の広域化は、本市の消防組織を消滅させ、市長に指揮権がなくなることを意味する。規約及び政策論的な面から考え

て、消防救急の広域化に反対し、消防救急広域化協議会の設置に反対する。

### 《賛成》民主党・刷新の会

消防広域化により消防力が向上し、一層、市民の安全・安心の確保が図られるとの考えから賛成する。

なお、規約について、首長に事故があつた際、当然、副市長が協議会に出席することになると思われるが、オブザーバー出席であり、議決権もないとのことでは、市を代表した意見等を述べることで、この点については見直しを求めたい。

市長におかれては、本市の発言が十分確保できるよう、さきに述べた点について、協議会に強く働きかけていただくことを求める。

### 《反対》重岡秀子議員

広域化しても実態は今と変わらないと、繰り返し答弁されているが、それならば、構成自治体が、一六市町から四三市三町に減った状況をどう判断するのか。

また、今後、広域化再編の際には、今の消防力が担

保される保障はない。

さらに、本市の地理的な状況から、相互の消防力を融通しあうことは容易ではないと考える。

以上の点から、広域化によって、本市の消防力が向上するのか、市民にとってメリットとなるのか疑問であり、反対する。

### 《賛成》輝21

これまでの討論における規約条文中の規定に係る疑義や、本市にとつてのメリットの有無ということよりも、市民の安全・安心を守るといふ消防の使命に、一人一人が期待を寄せているはずである。

消防救急の広域化により、消防力の向上が図られることが見込まれているのだから、まずは協議会を設置すべきであると考え。

協議会では、内容について議論を交わし、見直すべきは見直し、削除すべきは削除するという姿勢で臨まれることを期待し賛成する。



特に、企画政策などのシンクタンクのな役割を担う職員はふやし、横断的な組織を設置して、伊東市のまちづくりを総合的に進めるべきと考え。

また、本市の教育において、学力向上を図るためには、教育現場に人的ゆとりが必要であり、人員配置に向けた教育費の増額が必要と考え、反対する。



平成24年度  
一般会計決算案起立採決

## ■平成二四年度伊東市一般会計歳入歳出決算

### 《反対》重岡秀子議員

本市における最重要課題は、将来を見通した計画の推進に基づく産業経済の振興を重視したまちづくりであると考え、施策を推進するシステムに不十分さを覚える。



## 《賛成》森篤議員

平成二四年度の大規模事業である病院建設とゴミ焼却炉整備事業の成否は、直接自治体の経営手腕が問われる問題である。

病院建設は、課題がありながらも、既定どおり建設がされ、予定時期を繰り上げての開院となり、また、ゴミ焼却炉整備事業も、計画どおり業者の選定や発注等が無事行われた。

大事業ほど、その準備には相応のエネルギーを必要とするものであるが、変化するものもろの状況の中、順調に事業が進んだことを了として評価し、決算の認定に賛成する。

## 《賛成》公明党

前年度と比べ、決算規模が大きくなったものの、市税収入は減少し、扶助費が増加する中、事業の見直し等の取り組みにより、財政調整基金や減債基金への積み立て、起債残高の圧縮が図られており、健全化判断比率等の財政指標からも、財政面においては健全化の

方向に向かって行政運営がされていると判断でき、その実践を高く評価する。

経済状況の好転がなかなか見えない状況であるが、活気あふれる伊東構築のため、時には大胆な施策を打ち出すことを期待し、認定に賛成する。

## 《賛成》正風改革クラブ

新病院の開院や焼却炉整備などの各種事業を評価するとともに、起債の増加に伴う将来負担比率の上昇が懸念される中、基金運用により財政の弾力性を持たせたことや、プライマリーバランスの九年連続黒字化、市債現在高の減少等から、行財政改革が目に見える形になったと実感している。

今後は、「いとう8K」

に一層の磨きをかけ、P・D・C・Aマネジメントサイクルをフル活用し、各種施策の見直し、充実を図り、活力ある地域づくりに全力で取り組んでいただくことを要望し、賛成する。



## 平成25年9月定例会で審議した議案等

## 39件の議案等を審議、決定

| 議案番号   | 件 名                                | 概 要                                                                                                                                                   | 提出者 | 審議結果      |
|--------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| 市報第3号  | 平成24年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について | 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告                     | 市長  | (報告、質疑のみ) |
| 市報第4号  | 平成24年度伊東市病院事業会計継続費精算報告書の報告について     | 地方公営企業法施行令の規定に基づく報告                                                                                                                                   | 市長  | (報告、質疑のみ) |
| 市議第12号 | 伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例       | 国家公務員の官職及び職務・職責と同等な職の給料月額が、国家公務員の俸給月額の最高水準を相当程度超えていることから、これを是正するための条例改正                                                                               | 市長  | 全会一致で可決   |
| 市議第13号 | 伊東市文化財保護条例の一部を改正する条例               | 文化財の指定・解除について、その種類ごとに詳細な規定を設けるとともに、文化財審議委員会の文化財保護審議会への変更や、教育委員会へ建議ができる旨を定めることとする。また、教育委員会が、文化財の所有者に対し、保護や公開に関する勧告等ができることを明記するなど、保護に関する規定を明確にするための条例改正 | 市長  | 賛成多数で可決   |
| 市議第14号 | 伊東市火災予防条例の一部を改正する条例                | 消防法施行令の一部改正に伴う引用条項ずれを整理するための条例改正                                                                                                                      | 市長  | 全会一致で可決   |
| 市議第15号 | 駿東伊豆地区消防救急広域化協議会の設置について            | 広域消防運営計画の作成に関する事務を管理及び執行し、広域的な消防組織の構築を目的として、駿東伊豆地区消防救急広域化協議会を設置するに当たり、地方自治法の規定に基づく議決                                                                  | 市長  | 賛成多数で可決   |
| 市議第16号 | 普通消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)購入契約の締結について         | 契約金額: 4,567万5,000円<br>契約の相手方: 株式会社モリタ東京営業部                                                                                                            | 市長  | 全会一致で可決   |
| 市議第17号 | 平成24年度伊東市病院事業会計資本剰余金の処分について        | 地方公営企業法の規定に基づく議決                                                                                                                                      | 市長  | 全会一致で可決   |
| 市議第18号 | 平成24年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について     | 地方公営企業法の規定に基づく議決                                                                                                                                      | 市長  | 全会一致で可決   |

# 市 議 会 だ よ り

| 議案番号                 | 件 名                                        | 概 要                                                                                                                                                                          | 提出者  | 審議結果           |
|----------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------|
| 市議第19号               | 平成25年度伊東市一般会計補正予算（第2号）                     | 市内の経済状況を勘案して公共施設の小規模修繕を中心とした緊急経済雇用対策事業などの計上、市内ウオーキングコースや観光トイレの整備に加え、下半期に向けた観光宣伝委託料等の増額、風しんワクチン予防接種の助成経費や扶助費等の追加、各種施設や小・中学校における緊急修繕経費の計上、財政調整基金や減債基金への積み立てなど7億5,583万9,000円の追加 | 市長   | 全会一致で可決        |
| 市議第20号               | 平成25年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第1号）                | ポンプ場等4施設における、平成26年度から平成28年度までの3年間の施設維持管理を委託するに当たり、入札公告などに着手するため、債務負担行為の追加                                                                                                    | 市長   | 全会一致で可決        |
| 市議第21号               | 平成25年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第2号）                 | 平成26年4月に開催する共同通信社杯における準備作業を早期に開始するため、債務負担行為の追加                                                                                                                               | 市長   | 全会一致で可決        |
| 市議第22号               | 平成25年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）             | 一般被保険者療養給付費などの増額、精算による前年度分の国庫支出金返還金の計上など2億5,541万5,000円の追加                                                                                                                    | 市長   | 全会一致で可決        |
| 市議第23号               | 平成25年度伊東市霊園事業特別会計補正予算（第1号）                 | 平成25年6月に抽選を行った20区画の墓所使用料の計上、霊園内歩道の舗装修繕経費や霊園整備基金への積立金の計上など883万4,000円の追加                                                                                                       | 市長   | 全会一致で可決        |
| 市議第24号               | 平成25年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）               | 保険給付支払準備基金積立金のほか、介護予防事業等に係る国県支出金等の返還金の計上など1,621万8,000円の追加                                                                                                                    | 市長   | 全会一致で可決        |
| 市認第5号<br>？<br>市認第15号 | 平成24年度伊東市一般会計歳入歳出決算、以下。8特別会計歳入歳出決算と2企業会計決算 | ※2ページをごらんください。                                                                                                                                                               | 市長   | ※2ページをごらんください。 |
| 市選第1号                | 教育委員会委員任命の同意について                           | 井上靖史氏（八幡野）新任                                                                                                                                                                 | 市長   | 賛成多数で任命に同意     |
| 市選第2号                | 公平委員会委員選任の同意について                           | 坂部正樹氏（八幡野）再任                                                                                                                                                                 | 市長   | 全会一致で選任に同意     |
| 市選第3号                | 監査委員選任の同意について                              | 鳥居康子議員（議員のうちから選任する委員）                                                                                                                                                        | 市長   | 全会一致で同意        |
| 発議第4号                | 若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書                | 内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出                                                                                                                                           | 議員7名 | 全会一致で可決        |
| 発議第5号                | 大規模地震等災害対策の促進を求める意見書                       | 内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出                                                                                                                                 | 議員7名 | 全会一致で可決        |
| 発議第6号                | 議長辞職願について                                  | 宮崎雅薫議長の辞職                                                                                                                                                                    | —    | 賛成多数で許可        |
| 発議第7号                | 副議長辞職願について                                 | 浅田良弘副議長の辞職                                                                                                                                                                   | —    | 賛成多数で許可        |
| 発選第1号                | 常任委員会委員の選任について                             | ※11ページをごらんください。                                                                                                                                                              | 議長   | —              |
| 発選第2号                | 議会運営委員会委員の選任について                           | ※11ページをごらんください。                                                                                                                                                              | 議長   | —              |
| 発選第3号                | 農業委員会委員補欠推薦について                            | 佐山正氏、四宮和彦氏、土屋光枝氏、遠藤裕子氏を推薦                                                                                                                                                    | 議員7名 | 全会一致で推薦        |
| 発選第4号                | 議長選挙                                       | 有効投票21票のうち、西島彰議員21票で、西島彰議員が当選                                                                                                                                                | —    | —              |
| 発選第5号                | 副議長選挙                                      | 有効投票21票のうち、佐々木清議員21票で、佐々木清議員が当選                                                                                                                                              | —    | —              |
| 発選第6号                | 議会改革特別委員会委員の補欠選任について                       | 宮崎雅薫議員、稲葉富士憲議員、重岡秀子議員を選任                                                                                                                                                     | 議長   | 全会一致で選任        |

## 決算大綱質疑

全会派及び会派に所属していない議員から11議員が質疑  
／各会計決算及び市長の政治姿勢について（質疑順に掲載）

◎＝会派代表者、会派構成議員は議席順。質疑された議員は、太字・網かけ

### ■正風改革クラブ

・浜田修 郎議員・榎本元彦議員  
・佐山 正議員・井戸清司議員  
◎佐々木 清議員・西島 彰議員  
・宮崎雅薫議員・土屋 進議員

「元点改基」という8K健康共成の各種施策のうち、健康保養地づくり事業、子育て支援事業及び児童福祉関連事業の成果を問う

佃市長二期目の施政方針である「伊東創造」の集大成として打ち出された「元点改基『いとう8K』健康共成」の政策のうち、健康保養地づくり事業の成果を問うとともに、人口減少の要因でもある出生数の減少に関連し、子育て支援事業や児童福祉関連事業の実績について問う。

健康といやしのまちづくりの推進や、子育て世代の経済的負担の軽減とともに、安心して子供を育てる環境整備に努めてきた

## 市長

健康保養地づくり事業については、体験・交流プログラム・メニューの充実、市民健康プログラムの充実、効果的な情報発信、及び、シンボル事業を四つの指針として事業を展開した。

具体的には、ゆったり・湯めまちウオークや健脳健身事業のほか、各種健康教室、オレンジビーチマラソン、健康まつり等を開催し、「健康といやし」のまちづくりを推進してきた。

子育て支援事業については、伊東つ子誕生祝金の支給や中学校修了までの子に対する児童手当の支給、及び、入院・通院費等の助成など、子育て世代の経済的負担の軽減に努めてきた。

また、不妊治療や妊婦健康診査に対する補助、新生児や乳幼児のいる家庭への訪問事業、乳児健康診査など母子に対する各種教室・健康診査を実施し、安心して子供を産み育てることができる環境整備に努めた。

『その他の質疑』 一九点

## ■公明党

◎鳥居康子議員・長沢 正議員  
・楠田一男議員

**財政調整基金及び減債基金に関し、現状の評価、今後の積み立てと運用に対する考え方について伺う**

全基金の決算年度末現在高は、対前年度比六億円余の増となっており、増加した主な基金は、財政調整基金、減債基金となっている。

今後、環境美化センター更新改良整備事業に係る起債の償還が予定されているほか、新たな保健福祉施設の建設、中学校給食の完全実施、橋梁長寿命化修繕計画への取り組み、災害対応など、市民の安心・安全を守る観点からも基金の積み立て、運用は重要であるから、その考え方について伺う。

計画的に積み立てるとともに、より有利な運用に努めてまいりたい

## 市長

財政調整基金については、決算年度末現在高を二〇億六九四〇万四〇〇円としたものの、大災害に備えるとともに、今後、中学校給食の完全実施や新たな保健福祉施設の建設などに、多額の経費が見込まれることから、その財源を確保しておくため、当分の間、計画的に積み立てていきたい。

また、減債基金については、現状では環境美化センター更新改良整備事業における起債の償還に備えるために積み立てているが、総事業費のうち二〇億円以上を借り入れる予定である。具体的な目標は設定していないものの、償還額が大きくなる平成二九年度まで、その間の収支状況を見ながら、計画的に積み立てていきたい。

なお、基金については、残高の推移や歳計現金の不足見込額等を見きわめながら、より有利な運用に努めていきたい。

『その他の質疑』 二点

## ■民主党・刷新の会

・四宮和彦議員◎鈴木克政議員  
・浅田良弘議員

**地域福祉の充実における災害時要援護者避難支援システムの構築、及び、これに基づく個別台帳の作成と充実について**

地方公共団体における決算書とは、市民生活の向上を目的に、予算段階で設定された諸施策に基づく各事業が企図するおりの成果を上げ、当初の目標を達成できたかを評価する成績評価書ともいふべきものである。したがって、決算書は、次年度以降の諸施策及び予算編成に生かされるべきものでなければならぬ。

平成二四年度予算は伊東市第四次総合計画の政策大綱に沿って諸施策が整理されていったが、その中で、「やさしさと笑顔にあふれる健康なまち」に係る事業のうち、「地域福祉の充実」における災害時要援護

者避難支援システムの構築、及び、これに基づく個別台帳の作成と充実について、その成果はどのようなものであったか伺う。

個人情報保護に配慮しつつ、情報の共有化や地域でのさらなる効果的な活用方法について検討していく

## 市長

災害時要援護者避難支援システムは、県の補助を受け、平成二四年度から稼働し、本システムから打ち出される個別台帳は、個人情報保護審査会など必要な手続を経た上で、手上げ方式による災害時要援護者情報や、行政で把握している福祉情報等を記載しており、これらに民生委員の協力のもと、臨戸によって得た情報を加えている。

今後は、個人情報保護に配慮しつつ、他の支援者、団体との情報の共有化や、地域でのさらなる効果的な活用方法について、検討を進めていく。

『その他の質疑』 二三点



## ■ 輝 21

・稲葉正仁議員・稲葉富士憲議員  
◎三枝誠次議員

本市が所有する施設の劣化状況をどのように把握し管理しているか伺う

全国的に高度成長期に建設された橋梁、道路、堤防などインフラの老朽化や地震などの災害による損壊の危険性が懸念されている。

本市においては、伊東市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、本市が管理する長さ一〇m以上の橋梁三四橋のうち、傷みが激しい一七橋について、管理方法を変え、安全性の維持とコストの削減を図りつつ、本年度から順次、一〇年以内に補修していくとしているが、当該計画は平成二四年度に委託事業により策定されたことなどから、土木技術職員の不足が心配される。

このようなことから、本市が所有する施設について、劣化の状況をどのように把握し管理しているか、また、技術職員の数が充足しているか伺う。

日常の保守点検や定期点検等により劣化状況等を把握し管理している

市長

各施設の劣化状況については、各所管課において日常の保守点検や定期点検、また担当職員が実際に施設を巡回して、建物や設備の損傷や劣化状況を把握し管理を行っている。

また、本市が所有する施設について、土木施設は土木系の技術職員が調査点検を実施し、建物は建築系技術職員が、機械は機械系職員が、それぞれの所管課と連携を図る中で実施している。

特殊な構造物の点検管理においては、専門技術者がいるコンサルタントや専門業者に委託し対応しており、日常的な施設管理においては、技術系職員での対応は可能であると考えている。

『その他の質疑』 八点

## ■ 伊東元気の会

◎横沢 勇議員・杉本一彦議員

消防団員の確保に向けた取り組みについて伺う

現在、本市の消防団の定員は五〇六人であるが、これは、昭和四八年に制定されて以来、現在も適用されており、最近では、市内の人口減少や少子高齢化、さらには、各地域における人口動態の変化等により、団員の確保に大変苦慮している分団もあると伺っている。そこで、団員確保に向けた取り組みについて、また、今後、どのような方策を考えているのか伺う。

消防団活動への理解と入団の促進にあわせ、消防団協力事業所の拡充や消防団員の処遇の改善に努めていく

市長

団員確保については、「消防団活動支援・活性化事業」を行い、消防フェスタの開催やリーフレットを

作成し、消防団活動への理解と入団の促進を行った。

また、団員の処遇改善として、市内の事業所や店舗に対し、団員への優遇措置について協力いただく「ありがとう消防団応援事業所」への登録を依頼する中で一三事業所の登録があったが、これについては、消防団と地域活性化に一定の効果が見込められる。

今後は、会社等に勤めている団員の増加に伴い、団員を雇用する事業所の理解と協力が不可欠であるため、「消防団協力事業所」の拡充を図るとともに、団員の処遇改善に努めていきたい。



消防出初式（平成25年）

『その他の質疑』

七点

## 森 篤議員

（会派に所属していない）

平成二四年度予算に賛成する際、市長と組織体としての力量が、これまで以上にうまく結びつくことを特に留意すべきと言及したが、予算執行の過程において、どのように対処したか伺う。

市長

本市の組織体としての力量の向上は、職員の意識改革が最重要課題であると認識し、平成二四年度に、「生産する職員」への飛躍を目指した新たな人材育成・活用基本指針を策定した。

『その他の質疑』 三点

## 重岡秀子議員

（会派に所属していない）

平成二四年度決算に関し、個人市民税微増の要因となっている年少扶養控除の廃止と特定扶養控除の上乗せ分廃止に伴う本市への影響について伺う

## 閉会中の 議会活動

平成25年



※平成25年6月定例会閉会後、平成25年9月定例会開会まで

- 7月8日 議会報編集委員会
- 17日 議会改革特別委員会
- 23日 常任観光建設委員会協議会
- 8月2日 常任総務委員会協議会
- 5日 常任福祉文教委員会協議会
- 26日 議会運営委員会

市長  
給与所得者等の個人所得の減少傾向は継続しているものの、年少扶養控除等が廃止されたことによる影響額が、個人所得の減収分を上回ったため、前年度に比べ四三〇〇万円ほどの増となった。

『その他の質疑』 四点

# 一 般 質 問

## 7 議員が登壇/市政全般について質問

(登壇順に掲載)

観光会館にかわる多目的  
ホールの建設について考  
えを伺う



正風改革クラブ  
西島 彰 議員

これまで多くの議員や各種団体などからの要望や提案が続く観光会館の新設については、文化的ホールに限らない多目的ホールとし、コンベンションによるまちづくりを活用することで、地域経済やコミュニティ活動を活性化できると考える。そこで、既に築四十七年が経過している観光会館にかわる多目的ホールの建設、及び、同施設建設のための基金の設置に係る考え、また、同施設を活用したコンベンション事業に対する考えや想定される効果を伺う。

将来的な構想として、利用者の声や関係機関の意見を聞きながら検討しなければならぬと考える。

市長

観光会館は、小規模な修繕を行うことで、施設の延命化に努めている。

観光会館にかわる多目的ホールの建設については、将来的な構想として、市民の皆さんを初めとする利用者の声や関係機関の意見を聞きながら先々の財政状況等も勘案し、検討しなければならぬと考えており、そのための基金については、その必要性も含め、検討する必要があると考えている。

また、これまでも各種の団体の大規模な大会を観光会館で行ってきた実績もあり、同施設を活用したコンベンション事業については、誘客効果や経済効果が期待できるものと考えている。

『その他の質問』 三点



観光会館

物品調達における契約の  
透明性をどのように確保  
しているか



輝21  
稲葉富士憲 議員

物品調達に当たって、市は税金を有効に使用する立場から、同じ物なら安い業者を選択しているように思われる。

一方、市内業者は、「自分たちは市に税金を納めている」等、市への貢献を理由に、優遇されてもよいと考えている。

多くの課からは市内業者を優先していると聞いているが、市内業者の中には、市外業者と同じ扱いを受け、優遇されていない、と話す業者もあり、双方の意見にそごを来していることから、契約の透明性をどのように確保しているか伺う。

今後は、調達結果の公表について検討していきたい



市長

調達の相手方の選定については、透明性及び公平性を確保した競争を原則とし、競争によることができない場合には、本市の契約規則などに基づき、厳格に調達の相手方を選定しているところである。

今後は、調達手続の透明性を高めるため、調達結果の公表について検討していきたい。

『その他の質問項目』

■減少が続く本市の人口について

■本市が調達する物品について

■スマートフォンによる位置情報を含む情報通報システムの導入について



市所定の物品調達伺票

身近な認知症治療拠点の設置について、及び、若年性認知症患者や家族へのサポート体制について



公明党  
長 沢 正 議員

厚生労働省は、二〇二二年時点で、高齢者三〇七九万人のうち四六二万人の方が認知症であると発表した。

今後も認知症患者は、増加することが想定されるが、本市の認知症対策に関し、以下二点伺う。

一 地域における身近な治療拠点の設置について  
二 若年性認知症患者や家族へのサポートについて

一 医師会とも連携し、診療体制の充実を図る  
二 関係機関と連携し、相談できる場の充実を図る

市長

認知症治療拠点については、東部には、県内二カ所

しかない認知症疾患医療センター指定病院であるNTT東日本伊豆病院しかないため、希望者数が多く、受診までに長時間を要する状況にあるが、医師会には、認知症サポート医研修への派遣に積極的に取り組んでいただいていることから、初期段階で、適切な治療を受けることができるよう、医師会と連携し、診療体制を充実していく。

若年性認知症患者や家族へのサポートについては、高齢者と同様に、医療、介護などの支援が可能であることから、医療機関や地域包括支援センターと連携し、本人や家族が相談できる場の充実を図っていく。

『その他の質問』 一点



認知症サポーター養成講座

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、今後の本市における学力向上のための取り組みについて伺う



正風改革クラブ  
佐 山 正 議員

文部科学省が公表した平成二五年度全国学力・学習状況調査結果によると、

「第六学年国語A」の静岡県公立校の平均正解率が全国最下位であると示された。この結果について、さまざまな意見がある中、教育長としては、どのように評価し、また、今後取り組んでいくか伺う。

伊東市学力検証委員会を組織し、現状と課題を明確にしつつ、具体的な取り組み等の実施を計画している

教育長

今年度の全国学力・学習状況調査は、四月二四日に小学校六年・中学校三年の

全児童生徒を対象に、国語、算数・数学と生活習慣や学習環境について実施された。今後の取り組みについては、小中学校教員により伊東市学力検証委員会を組織し、学力分布や到達度、学習環境や生活習慣との関係関係等を考察し、学力や学習に関する現状と課題を明確にしつつ、今後の学習指導のあり方など、具体的な取り組み等をまとめ、実践することを計画している。

『その他の質問項目』

■スポーツ関連施設の今後の方向性について

■オレンジビーチマラソンの実施について

■吉田区民会館の施設整備について



平成25年度  
全国学力・学習状況調査

今後の放課後児童クラブの  
あり方や環境整備について



伊東元気の会  
杉本一彦 議員

放課後児童クラブは、共働き・ひとり親家庭等にとって、必要不可欠な施設であり、行政は、積極的に運営体制の充実を図っていくべきである。

昨年八月、国において子ども・子育て支援法が制定され、児童福祉法が改定されたが、これにより、放課後児童クラブに関し、国の基準が示されることとなり、あわせて、市町村も条例で基準を定めることとされた。そこで、本市の教育・子育て環境の充実を図るとの観点から、将来の放課後児童クラブのあり方、方向性について伺う。

国の動向を確認しながら、新制度に基づいた支援の充実を図っていく

教育長

現在、国が進めている子ども・子育て新制度において、支援の強化を図るとしており、国の動向を注視しつつ、新制度に基づいた支援の充実を図っていきたい。

『その他の質問項目』

■商店街の再開発について  
市街地商店街の現況について

・伊東駅前や各商店街を中心に大規模な再開発を行うつたらどうか

■八幡野に捨てられた産業廃棄物について

・この問題に係る見解は  
・これまでの対応と解決に向けた考え

■放課後児童クラブの課題について



放課後児童クラブ（どろんこクラブ）

移住者への支援や分譲地の抱える課題について取り組むプロジェクトチームを組織すべきではないか



重岡 秀子 議員  
(会派に所属していない)

伊東市の将来像を展望する中で、移住者が多いという伊東市の個性、特徴をどのようににまちづくりに生かしていくか、そして、「ずっと住み続けられるまち」にしていくためには、どうしたらいいか、多面的な分析と検討が必要である。

今、杉並区の特養の南伊豆町への建設が注目されているが、国では、「サービス付き高齢者向け住宅」に移住した場合でも、今まで住んでいた自治体が介護保険料を払う旨の法改正も検討されている。

このような国の動きも視野に入れ、市内に、移住に関して横断的な施策検討を

するプロジェクトチームを組織すべきであると考えますが、いかがか。

まずは、その課題や問題点を整理していきたい

市長

移住者への支援や分譲地の抱える課題については多くの行政分野に関係し、その内容も多岐にわたることから、まずは、その課題や問題点を整理していきたい。

『その他の質問項目』

■第四次総合計画の推進に係るまちづくりの課題

・移住促進に係る課題は  
・分譲地の課題解決のため、新たに行政区に加えてはどうか

■かがやくまちづくり事業  
■伊東みらい観光塾の今後



分譲地が集中する市南部

伊豆半島グランドデザインの位置づけ及びその策定過程における市民、議会への説明等について伺う



森 篤 議員  
(会派に所属していない)

伊豆半島グランドデザインについては、非常に大事な計画ではないかと思うが、その位置づけについて伺う。また、当策定過程において、市民及び議会に、特段の説明等がされなかったことについて、今年度の本市の経営方針である未来協知との違和感を覚える。

政治においてその多くは経過を閑却して、結果が大事だということはなく、当デザイン策定においても同様であるとして伺う。

伊豆半島全体が目指すべき指針、方向性を示すものであり、今後、市民や議会と協働する中で実施したい

市長

本デザインは、伊豆半島全体が目指すべき指針、方向性を示すものであり、今後、各市町が連携し、具体的な取り組みを展開していくこととなる。

推進に当たっては、市民や議会からの意見を十分に伺い、協働する中で実施していきたい。

『その他の質問項目』

■例規の適切な適用に関し

二点

■公募型補助金に係るプロセスの公開について

■江戸城石丁場遺跡について  
国史跡指定に向けた進捗状況等について

■全国学力・学習状況調査について



平成25年4月に策定された伊豆半島ランドデザインの表紙

正副議長の選挙

正副議長から辞職願が提出されたことに伴い、九月三〇日の最終本会議において選挙を行い、議長に西島彰議員、副議長に佐々木清議員を選出しました。



第70代議長  
西島 彰 議員



第65代副議長  
佐々木 清 議員

議会内の異動

●九月三〇日

会派代表者の異動

正風改革クラブは、佐々木清議員から宮崎雅薫議員に、公明党は、鳥居康子議員から楠田一男議員に、伊東元気の会は、横沢勇議員から杉本一彦議員に、会派代表者を変更しました。

## 常任委員会・議会運営委員会委員の改選、特別委員会委員の異動に伴う新委員会構成

### 常任総務委員会

委員長 稲葉富士憲（輝） 副委員長 浜田修一郎（正）  
委員 宮崎雅薫（正）楠田一男（公）四宮和彦（民）重岡秀子（無）森 篤（無）

### 常任観光建設委員会

委員長 榎本元彦（正） 副委員長 長沢 正（公）  
委員 土屋 進（正）佐々木清（正）鈴木克政（民）稲葉正仁（輝）杉本一彦（元）

### 常任福祉文教委員会

委員長 横沢 勇（元） 副委員長 佐山 正（正）  
委員 井戸清司（正）鳥居康子（公）浅田良弘（民）三枝誠次（輝）掬川武義（無）

### 議会運営委員会

委員長 土屋 進（正） 副委員長 楠田一男（公）  
委員 宮崎雅薫（正）井戸清司（正）四宮和彦（民）稲葉富士憲（輝）杉本一彦（元）

### 議会改革特別委員会

委員長 鈴木克政（民） 副委員長 森 篤（無）  
委員 宮崎雅薫（正）佐山 正（正）浜田修一郎（正）長沢 正（公）  
四宮和彦（民）稲葉富士憲（輝）杉本一彦（元）重岡秀子（無）

※西島 彰議長（正）は、総務委員会に所属していますが、申し合わせにより、委員活動を辞退しています。  
会派略名：（正）正風改革クラブ（公）公明党（民）民主党・刷新の会（輝）輝21（元）伊東元気の会（無）会派に所属していない



# 常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、一二月下旬発行予定の九月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

## 総務委員会

問

市政モニターの選考に係る基準等について伺う。

答

市政全般にわたるさまざまな分野の意見を伺えるよう、応募動機や年齢層、地域的な均衡などを考慮して選考している。

問

ごみ減量化に関し、順調な推移の要因を伺う。

答

有料化や経済の動きも関係しているが、減量化に向けた啓発も行っており、市民全体の取り組みと考える。



環境美化センター

## 観光建設委員会

問

観光トイレユニバーサルデザイン整備に係る工事箇所について伺う。

答

今回は、門脇崎にある半四郎の落し処と磯菊の詩野箱であるが、今後、他の観光トイレについても計画的に修繕等を図っていきたい。



半四郎の落し処

問

伊豆高原駅―伊東市民病院間のバス路線の運行について伺う。

答

利用実績から、利便度の高い三便について運行する。

## 福祉文教委員会

問

文化財保護条例改正後の運用について伺う。

答

文化財保護審議会において、指定・認定等に関し一層深い審議が期待できる。

問

文化財管理センターの利用促進について伺う。

答

出前授業や夏休み古代体験教室等においてセンターの存在を紹介するとともに、ウォーキングコースに取り入れ、市民・観光客に対してもピーアールをしていく。



文化財管理センター

## 特別委員会

### 中間報告



## 議会改革特別委員会

### 決算大綱質疑の方法決定

七月一七日、委員会を開催した。

前回の委員会では協議が調わなかったため、改めて決算大綱質疑に係る正副委員長案を提案したが、主たる変更点は、予算大綱質疑と同様、議員一人当たり二〇分の持ち時間とし、時間の短い会派等への配慮から、伊東元気の会と会派に所属していない議員にそれぞれ五分を延長した点である。

委員から、課題等は改めて検証すればよいとして、提案に賛意を示す旨の意見や、一部の会派等への五分の延長は、やや根拠が薄いのではないか等の意見もあったが、委員長において提案のとおり実施することを諮り、異議なく了承された。

## 編集後記

ことし四万十市で、観測史上最高気温の四一・〇度を記録した夏が過ぎ、随所に秋の気配が感じられます。市議会では、新正副議長誕生、各委員会委員の改選等があり、新体制となりました。

本委員会も正副委員長や委員がかわり、より一層親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。

(委員長)

### 議会報編集委員会

委員長 稲葉富士憲  
副委員長 長 沢 正  
委員 浜田修一郎  
" 四宮和彦  
" 杉本一彦

### 市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号  
TEL (三三) 一九八一  
FAX (三八) 六九一六

次期一二月定例会は一二月二九日開会の予定です。